

公開講演

—我が国の難病疾患の遺伝子治療体制確立に向けて—

第1回 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

1st International Collaborative Forum of Human Gene Therapy for Genetic Diseases

開催日：平成 23 年 1 月 26 日 (水) 13:00-19:00

会場：女性と仕事の未来館 〒108-0014 東京都港区芝5丁目 35-3
Tel. 03-5444-4151 FAX : 03-5444-4152

参加費：無料

総合司会 奥山虎之 (国立成育医療研究センター)

● 挨拶 13:00~13:45

フォーラム実行委員長 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学)
厚生労働省健康局疾病対策課 課長 難波 吉雄
日本遺伝子治療学会 理事長 金田 安史 (大阪大学)

● 講演：欧米における遺伝子治療体制 13:45~14:30

司会 小澤 敬也 (自治医科大学)
『遺伝子治療における我が国と欧米との違い』
小野寺 雅史 (国立成育医療研究センター)

● 講演：ヨーロッパにおける遺伝治療体制 14:30~16:10

司会 小野寺 雅史 ((国立成育医療研究センター) 大橋十也 (東京慈恵会医科大学)

◆イタリア

『Hematopoietic stem cell gene therapy for primary immunodeficiencies』
Dr. Alessandro Aiuti, HSR-TIGET, Milano and University of Rome Tor Vergata

◆フランス

『cGMP production of clinical grade vectors at Genethon: current and prospective applications for the gene therapy of monogenic diseases』

Dr. Mehdi Gasmı, VP Product Development and Manufacturing, Genethon
Dr. A. Galy, Head of Molecular Immunology, Inserm/Genethon

● 講演：米国における遺伝子治療体制 16:20~17:00

司会 島田 隆 (日本医科大学)
Genzyme Corporation

● 講演：企業での遺伝子治療創薬 17:00~17:40

司会 藤本 純一郎 (国立成育医療研究センター)
『タカラバイオにおける遺伝子治療臨床開発の現状について』
峰野 純一 (タカラバイオ)
『遺伝子治療の Regulation』
山口 照英 (医薬品医療機器総合機構 / 国立医薬品食品衛生研究所)

● 講演：我国の難病研究の現状と将来 17:40~18:10

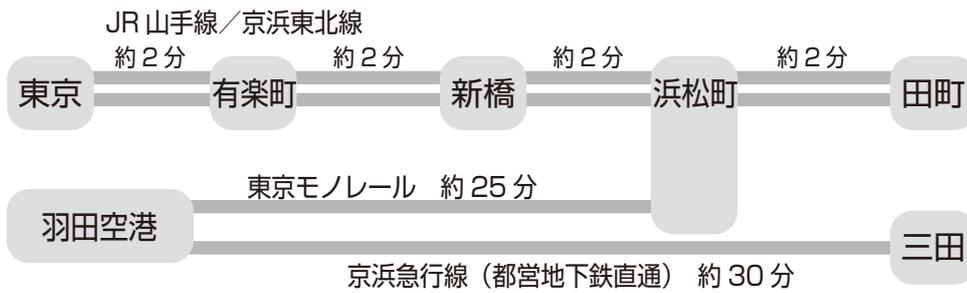
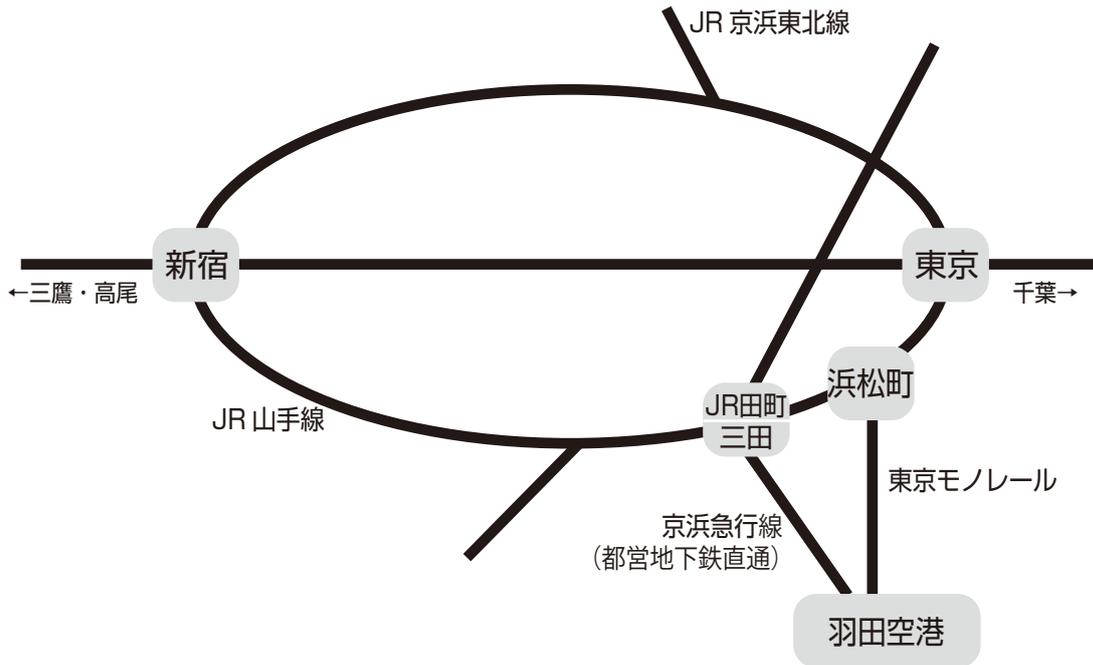
司会 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学)
岡本充功 衆議院議員 (厚生労働省大臣政務官)

● 総合討論：今後の展望 18:10~18:50

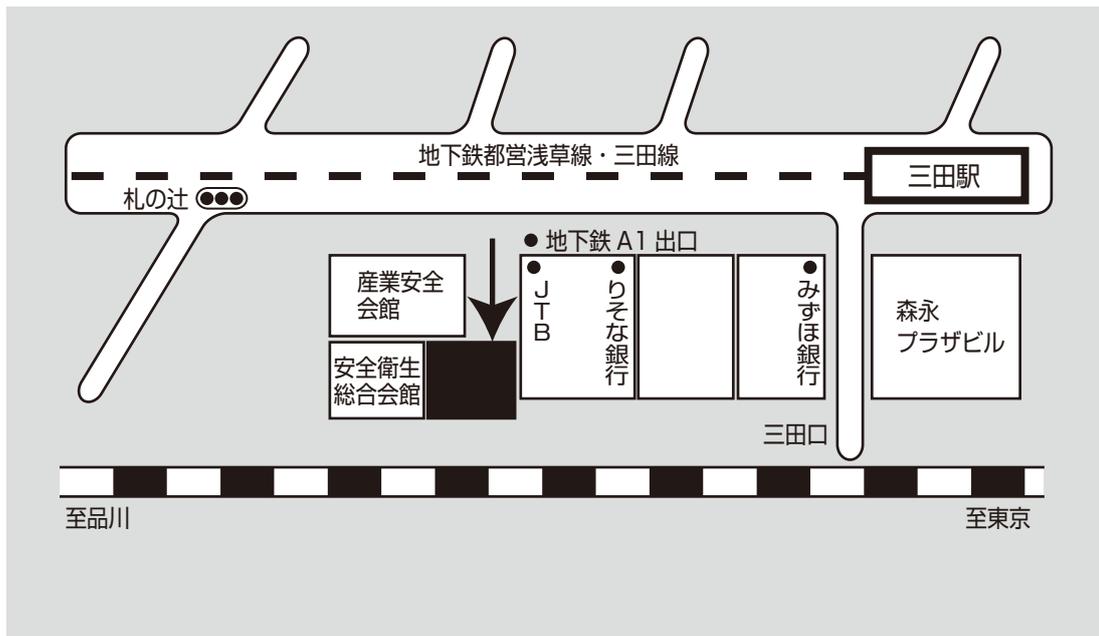
司会 小野寺 雅史、奥山 虎之、衛藤 義勝
Commentator: 藤本純一郎・大橋 十也・島田 隆

主催：厚生労働省難治性疾患調査研究班ライソゾーム病調査研究班 (衛藤班)
国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会
共催：厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) (小野寺班)
厚生労働科学研究費補助金 (医療技術実用化総合研究事業) (奥山班)
後援：NPO 法人日本ライソゾーム病研究センター

女性と仕事の未来館



※乗り継ぎ時間は含みません。



〒108-0014 東京都港区芝 5-35-3 TEL : 03-5444-4151 FAX : 03-5444-4152
 JR 田町駅三田口 (西口) から徒歩 3 分
 地下鉄 (都営浅草線、都営三田線) 三田駅
 A1 出口から徒歩 1 分